

教科	科目	単位数	学年	集団
保健体育	スポーツVI	2	3	ビジネス探究科（選択）

使用教科書	副教材等
なし	アクティブスポーツ（大修館書店）

科目の目標
<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 体づくり運動の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。</p> <p>(2) 体づくり運動における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 体づくり運動の学習に主体的に取り組むとともに、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。</p>

評価の観点とその趣旨	
①知識・技能	体づくり運動の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解している。 体づくり運動の推進及び発展に向けた多様な関わり方に関する技能を身に付けている。
②思考・判断・表現	文化的、社会的、経済的側面など多角的な視点での課題を発見し、主体的に思考し判断したことを、言葉や文章、および動作などで表したり、周囲に道筋を立てて論理的に表現することができる。
③主体的に学習に取り組む態度	科目のねらい達成するための学習に、主体的に取り組もうとしている。 互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとすることに意欲を高め、事故や仲間の体力の程度に配慮し、事故の危険性を未然に回避し、健康・安全を確保しようとしている。
評価方法	
①知識・技能	(技能テスト)
②思考・判断・表現	(振り返りシート、チェックシート)
③主体的に学習に取り組む態度	(行動観察)

学習計画						
月			単元や題材などの内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	体ほぐしの運動 体力を高める運動（現代的なリズムのダンス）		柔軟体操、ストレッチをする目的・方法の確認をし、実践できる。  リズムに乗って全身で踊り、自己や仲間の課題を発見し伝え合うことができる。	○	○	○
5	体力を高める運動（バレーボール）		各ポジション・役割に応じたボール操作を実践することができるようになる。	○	○	○
6	体力を高める運動（水泳）		4泳法（クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ）の実践。 スタート、ターンの技法も実践し、自己や仲間の課題を発見し、解決することができるようになる。	○	○	○
7						

9	体力を高める運動 陸上（スポーツテスト）		体力や技能の向上を図り、課題や挑戦ができる。	○	○	○
10	体力を高める運動 ネット型球技 （テニス）		状況に応じたボール操作ができるようになる。	○	○	○
11	体力を高める運動 器械運動 （マット運動）		回転系や技巧系の基礎的な技を実践する。 一人一人の技量の違いに応じた課題や挑戦ができる。	○	○	○
12	目的やライフステージ に応じた体力づくり 球技 （ターゲット型） ゴルフ		様々な状況に対応しながらボールを標的へ運ぶことができる。		○	○
1						
2						
3						